



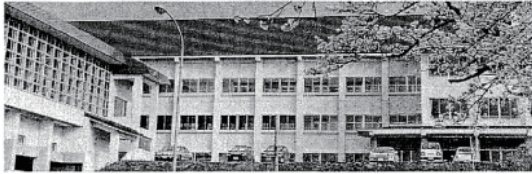
牧中学校校歌

作詞 小山 直嗣
作曲 大給 正夫

県境の峰の雄姿を
向学の理想と仰ぎ
若き友ここに集えり
いざともに誓いも固く
自治の旗高くかざして
はつらつと羽ばたきゆかん

風雪に耐えて伸びゆく
柏葉を徽章とかざし
若き友ここに挙げり
いざともに誇りも高く
勤労の汗もすがしく
伝統の美風を継がん

飯田川清き流れに
身を鍛え知徳を磨き
若き友ここにきおえり
いざともに正しく強く
きわみなき真理をたずねて
創造の泉を汲まん



沖見中学校校歌

作詞 市川 牧人
作曲 高田 守久

海原遠く眉を引く
佐渡島山夢に似て
波間に浮かぶ真帆片帆
風も緑のこの丘に
永久の平和をたたえつつ
学ぶもうれしい沖見校

南の空にそそりたつ
崇高く浄き妙高の
雪の曙見わたせば
けがれを知らぬ若人が
つとめ励みてたゆみなき
心をうつすますがみ

雲むらさきの米山に
今日も希望の朝日影
理想の嶺はいや高く
けわしき道は続くとも
我等が意気は天を衝き
虹とも映えて進みなむ



旧牧村民歌（大正10年制定） 相馬御風作詞

時の村長江口覚太郎は相馬御風に作詞を依頼して牧村合併20周年記念事業の一つとして村章・村民歌を議会で決め、作詞相馬御風で制定されたものである。

シラフノ ヤマノ ツラナリ ハ
わきづる せきゆー しげるき ぎ

オオ ゴラ タカクー ソビエタ チ
やま には やまのー さちあふ れ

イイダノ カワノー ミズキヨ フ
ごこくー ゆたかに のにみて る

ナガメー タノシキ マキノサ ト
めぐみー ゆたけさ まきのさ と

牧村民歌

一、みどりなす 白峰の 山に
希望よぶ 光あふれて
躍進の 歌が 脈うつ
お、わが郷土 牧村

二、飯田川 流れも 清く
うるわしき 山野 うるおし
繁栄の 日目を いろどる
お、わが郷土 牧村

この村を 拓くたのしき
この村を 築くうれしき

この村の 空のあかるさ
この村の 水のゆたけさ

三、ふりつもる 真白き 雪は
地を清め 心清めて
人の和の 花を 咲かしむ
お、わが郷土 牧村

この村に 生きる よろこび
この村に 暮らす しあわせ